

第 22 回全国合鴨フォーラム東京大会に参加してみませんか？
食と農を深く考える仲間（農家・研究者・消費者 etc）が一堂に集う絶好のチャンス！

<< 消費者のみなさんへ >>

東北・関東地方では、共生を意識した有機農業や自然農法などを実践してきた多くの農家の営みが危機に瀕しています。少なくとも、3月の福島原発事故以前は、健康な農産物の価値を認めてくれた「好ましい消費者たち」によってしっかりと支えられていたのに……。今日の状況では、土づくりを大切に、安心、安全な生命力豊かな作物を育ててくれた農家ほど苦しんでいるのが現状です。

なぜなら、従来から食に関心の深かった消費者の家庭ほど、農産物の放射能汚染を不安に思い、子どものために「ゼロリスク」を希求し、西日本の産地を選んだり、中には輸入食品を選んだりする傾向が強いからなのです。

心配は当然です。何故なら、暫定基準値が高く、しかも一部の農地に深刻な汚染が生じてしまった現実があるからです。将来の日本の「こどもたちの食と命」をどう守るか、そしてそれを支える「農」をどうするのかを考える必要があります。幸い、全国から健康な食を担ってきた、多くの心ある農家たちが参集します。農家に寄り添ってきた一騎当千の学者さんたちも力を貸してくれます。心は感じるものです。集うことで互いの知恵も共有できます。

みんなで浅草に集い、日本の国土に『身土不二の心』で復興の土台を築きましょう。

第 22 回全国合鴨フォーラム東京大会

実行委員長・砂金 健一

携帯：090-4626-0934

Eメール：K135@shindofuji.com

.....

参加申込書

第 22 回全国合鴨フォーラム・東京大会事務局 宛

送信先/FAX 03-3874-7052 又は、Eメール：K135@shindofuji.com

(参加費用 1000 円)

※ 弁当持参もOKです！

名前：

E-mail：

住所：

TEL：

FAX：

参加希望 (丸で囲む)： 大会参加のみ ・ 懇親会参加 ・ 保育希望する (歳)

1000 円

5000 円

<< お願い >> 新しい出逢いから、共に強靱な絆づくりへ

特に、今日の広範な国民が被っている不幸な事態は、原子力発電を推進してきた政府と電力独占事業者として原発の永続性を企んできた東電に全ての責任があります。

「原発神話」を振りまいてきたのは誰なのか？それに加担してきたのは誰だったのか？この視点を忘れることなく、農家と消費者がどう共同してこの局面を乗り切っていくのか、さまざまな切り口から、本音の忌憚のない意見を出し合っていきましょう。

皆さんが各々の課題をより深く考える材料は、プログラムにある各分野の最高峰に位置する実践研究者達の講演や報告によって提供していただけます。

① 岸田教授によって、

日本の有機農業の歩みと合鴨農法に象徴される“食と農といのちの繋がりの問題”を！合鴨農法のめざしてきたこととは？汚染が広がってしまった今日、日本人にとって何が大切か？

② 野中教授によって、

東日本の土壌の放射能汚染調査を踏まえての今後の有機農業の取り組みの重点課題を！特に、福島や茨城の農家達と共に現地で行ってきたことの実践報告は興味深いです。

③ 斉藤氏（農民連・食品分析センター）によって

食品分析からみて、日本の食を考える大切な問題と放射能分析結果の意味するものを！食品分析開始の狙いと分析機種の違いや検出限界値の意味など、運動の取り組みへのヒントも。

④ 比嘉教授によって、

実践例を踏まえて、有用微生物群（EM菌）活用による自然修復（土・人）の可能性を！チェルノブイリ事故の影響と対策について、ベラルーシなどでの経験から東日本の対策を。

⑤ 池上教授によって、

食品・水の放射能汚染からどう防御したらよいのかについての具体的なアドバイスを！子育て家庭に必要な、飲食による摂取を減らすための知恵・技と人の体の仕組みについてを。

⑥ 全国各地の合鴨農法農家によって、

今、全国の皆さんに伝えたいことを！T P P問題・鳥インフルエンザ問題・販売問題 etc 原発事故の発生によって、気付かされ、思い知らされたこと、実践していることと狙いを。

⑦ 首都圏の消費者として、

有機農業農家や専門家・研究者に訊いてみたいことを！みなさんに伝えたいことを！折角のチャンス！日頃から気になっていることなど、どしどし質問し発言してください。

☆この他にも、会場には、NHK プロフェッショナルで紹介された合鴨博士古野隆雄さん（前・全国合鴨水稲会農家代表）一家、元鹿児島大学副学長の合鴨農家萬田先生（前・全国合鴨水稲会学者代表）、大勢の元気な合鴨農家たちも参加します。また、煎餅屋さん、海苔屋さん、茶間屋さん、パテシエさん、料理研究家さん etc 多彩なメンバーが参加します。会場で、懇親会で、様々なテーマの対話と幸運な出逢いを楽しみましょう。

☆物販・展示会場では、写真展示や米糠利用の新食感スイーツ試食コーナーもあります。